

令和4年度（公財）日本バレーボール協会公認B級・C級審判員資格審査会  
6人制筆記試験問題

令和4年10月9日（日）実施

**【注意】 解答用紙はすべて指定された解答欄に記入してください。**

問1 次の文章は、2022年度6人制競技規則のうち「第1編 試合」の中の「第1章 施設と用具」について述べております。文章の中にある（ ）に当てはまる語句または数字を【語群】の中から選んで答えてください。【語群】の中の語句や数字は何度使っても構いません。

競技エリアは、コートと（ 1 ）を含む。長方形で、（ 2 ）でなければならない。

コートは（ 3 ）m×（ 4 ）mの長方形で、最小限（ 5 ）mの幅のフリーゾーンで囲まれている。フリープレー空間は、障害物が何もない競技エリアの上方の空間で、競技をする表面から、最小限（ 6 ）mの高さがなければならない。

F I V B世界・公式大会では、フリーゾーンの幅はサイドラインから（ 7 ）m、エンドラインから（ 8 ）mなければならない。フリープレー空間は競技エリアの表面から最小限（ 9 ）mの高さが必要である。

表面は、平坦かつ（ 10 ）で、均一でなければならない。選手に（ 11 ）の危険が及ばないものでなければならない。粗い表面、または滑りやすい表面でプレーすることは禁止される。

F I V B世界・公式大会では、ラインは（ 12 ）でなければならない。コートとフリーゾーンは（ 12 ）以外の、それぞれ異なる色で区別する必要がある。

すべてのラインは幅（ 13 ）cmである。それらは明るい色で、フロアおよび他のラインと異なる色でなければならない。

コートは、2本のサイドラインと2本のエンドラインにより区画される。2本のサイドライン、エンドラインとも、コートの（ 14 ）に引かれる。

ラインの後端がセンターラインの中心から（ 15 ）mとなるように両コートにアタックラインを引く。アタックラインにより（ 16 ）が区画される。

F I V B世界・公式大会では、アタックラインはサイドラインから外側に、長さ（ 17 ）cm、幅（ 18 ）cmの短いラインを（ 19 ）cm間隔で、全長（ 20 ）mとなる破線を引き、延長される。

サービスゾーンは、それぞれのエンドラインの後方に位置する9mの幅を持つゾーンである。サイドラインの延長線上に、エンドラインの後方（ 21 ）cmに、（ 22 ）cmの長さで引く2本の短いラインにより両端を区画する。両方の短いラインは、サービスゾーンに含まれる。

選手交代ゾーンは、両方の（ 23 ）のスコアラーズテーブルまでの延長線により区画される。

（ 24 ）は、チームベンチ側のフリーゾーンの一部であり、アタックラインからエンドラインまでの延長線により区画される。

F I V B世界・公式大会では、ウォームアップエリアは約（ 25 ）m×（ 26 ）mの広さで、それぞれのベンチ側フリーゾーンの外側のコーナーに観客の視野を遮らないように設けるか、またはスタンド（観客席）をコート面から（ 27 ）m以上の高さにして、チームベンチ後方に設けてもよい。

競技場の最低気温は、（ 28 ）℃（50°F）を下回ってはならない。

明るさは、（ 29 ）ルクス以上が必要である。

F I V B世界・公式大会では、照明の明るさは競技エリアの表面から（ 30 ）mの高さで測定し、（ 31 ）ルクス以上が必要である。

ネットはセンターラインの上に垂直に設置し、上端の高さは男子（ 32 ） m、女子（ 33 ） mである。

ネットの高さは、コート（ 34 ） で測定する。両サイドライン上のネットの高さは、完全に同じ高さで、規定の高さから（ 35 ） cmを超えてはならない。

ネットは縦幅（ 36 ） m（±3 cm）、長さは9.5～（ 37 ） m（サイドバンドの外側は両端各（ 38 ）～50 cm）で（ 39 ） cm角の黒い網目で作られている。

ネットの上部には、（ 40 ） cm幅で二つ折りの白いキャンバス地の水平帯（白帯）が、全長にわたり縫い付けられ、ネット上部を強くしっかりと支柱に固定するため、ひもを通す穴が白帯の両端に空けられている。ネット下部には、上部と同様の幅（ 41 ） cmの水平帯（白帯）があり、その中にロープが通っている。

2本のサイドバンドが、ネットに（ 42 ） にしっかりと取り付けられる。その位置は両サイドラインの真上となる。サイドバンドは幅（ 43 ） cm、長さ（ 44 ） mで、ネットの一部とみなされる。

アンテナは長さ（ 45 ） m、直径（ 46 ） mmの弾性のある棒で、（ 47 ） または類似の素材で作られている。

アンテナの上部（ 48 ） cmはネット上方に伸び、この部分には（ 49 ） な色で、できれば赤と白で（ 50 ） cmごとのストライプを付ける。

アンテナは（ 51 ） の一部とみなされ、ネット上方の（ 52 ） の横の限界を定める。

ネットの支柱は、サイドラインの外側（ 53 ） ～1 mの位置に設置される。（ 54 ） mの高さで、高低の調節が可能なものとする。

ボールの規格は、円周（ 55 ） ～（ 56 ） cm、重さ（ 57 ） ～（ 58 ） g、内気圧（ 59 ） ～（ 60 ） kg/cm<sup>2</sup>である。

### 問1の【語群】

1	2	3	4	5	6	7	8
9	10	12	14	15	16	18	20
25	30	60	65	67	69	80	90
0.30	0.310	0.325	0.5	1.75	1.8	2.05	2.15
2.24	2.38	2.40	2.43	2.55	2.5	6.5	12.5
100	260	270	280	300	1300	1500	2000
白い	赤い	外側	内側	赤色	白色	対照的	左右対称
垂直	水平	サイン	許容空間	前端	中央部	後端	支柱
均一	負傷	サイドライン	エンドライン	指示	ネット	バック	サービスゾーン
リベリプレイメントゾーン	プラスチック	ファイバーグラス	アタックライン	フロントゾーン	バックゾーン	フリーゾーン	選手交代ゾーン

問2 次の文書は、2022年度6人制競技規則「第1編 試合」の中の「第2章 競技参加者」及び「第4章 プレーの動作」及び「第6章 リベロ」に関する文章です。この文章の取り扱いについて、正しいものには○、誤っている部分があれば×を記入してください。

- (1) 監督とチームキャプテンが記録用紙に一度サインした後は、記入された選手（e-スコアのチームリスト）の変更は認められない。
- (2) リベロは、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなれない。
- (3) 監督は、スコアラーズテーブルに最も近い位置でチームベンチに座る。そして、ベンチを離れてはいけない。
- (4) 2人（3人）のチームメイトが同時にボールに触れた場合は、1回のヒットと数える（ブロックを除く）。
- (5) 各チームは、（規則10.1.2を除き）それぞれの競技エリアとフリープレー空間の中でプレーしなければならない。しかし、ボールは、自チーム側のフリーゾーン外とその延長上にあるスコアラーズテーブル上から取り戻してもよい。
- (6) 相手チームのプレーを妨害しない限り、足首より上の身体の中の部分が相手コートに触れてもよい。
- (7) サービスとブロックを除き、ボールを相手チームに送るすべての動作は、アタックヒットとみなされる。
- (8) 相手チームのプレーを妨害しない限り、選手は支柱、ロープ、またはアンテナの外側にあるネットや他の物体に触れてもよい。
- (9) ブロッカーが相手チームのアタックヒットと同時に相手空間内にあるボールに触れたときは、ブロックの反則となる。
- (10) サーバーは、ファーストレフェリーがサービスのホイッスルをした後、8秒以内にボールをヒットしなくてはならない。
- (11) リベロは、バックのポジションの中の選手とも入れ替わることができる。
- (12) 自チームのリベロが、フロントゾーン内で指を使ったオーバーハンドパスで上げたボールを、他の選手はネット上端より高い位置からアタックヒットを完了することができる。
- (13) 各チームは、記録用紙の選手リストの中から守備専門の選手であるリベロを必ず2人を指名しなければならない。
- (14) リベロは、ブロックを完了した場合は反則になるが、ブロックの試みは反則にならない。
- (15) リベロとその入れ替わる選手は、リベロリプレイメントゾーンを通じてのみコートに出入りできる。

問3 次の文章は、2022年度版バレーボール6人制競技規則「第7章 競技参加者の行為」のうち「不法な行為とその罰則」に関する文章です。その内容が正しい場合は○を、誤っている部分があれば×を記入してください。

- (1) 軽度の不法な行為は、罰則の対象にはならない。主審には、チームが罰則のレベルに達しないように防ぐ義務がある。  
これは2段階で処置される。  
ステージ1：ゲームキャプテンを通じて口頭での警告をする。  
ステージ2：該当する選手にイエローカードを使用して警告をし、記録用紙に記録する。
- (2) 身体的攻撃をする、または攻撃的、威嚇的な行為は、それが1回目ならばレッドカードを使用して相手チームに1点とサービスを与える罰則を適用する。
- (3) チームメンバーによる試合での最初の無作法な行為に対しては、相手チームに1点とサービスを与える罰則を適用する。
- (4) 失格となったチームメンバーは、コート上にいる場合は直ちに正規の選手交代をして、試合終了までチーム控室に行かなければならないが、それ以上の処置は受けない。
- (5) チームメンバーによる最初の侮辱的な行為に対しては、相手チームに1点とサービスを与える罰則を適用する。（レッドカードを示す。）

問4 次の文章は、2022年度版バレーボール6人制競技規則「第5章 中断、遅延行為とインターバル」に関する用語の説明です。( )にあてはまる語句を【語群】の中から選んで記入してください。

### 1. 不当な要求

- (1) ( A ), またはサービスのホイッスルと同時か、あるいはその後に試合中断を要求すること。(規則12.3)
- (2) ( B ) のないチームメンバーが試合中断を要求すること。(規則5.1.2.3, 5.2.3.3)
- (3) インプレー中の選手の負傷や病気の場合を除いて、同じチームが同じ中断中に ( C ) の選手交代を要求すること。(規則15.2.2, 15.2.3)
- (4) タイムアウトと選手交代の ( D ) を超えて要求すること。(規則15.1)
- (5) 試合での1回目の不当な要求は、試合に影響を与えず、試合の遅延にならなければ拒否される。罰則の適用を受けることはないが、記録用紙には記録される。(規則16.1) 同じチームが試合中に、さらに不当な要求をした場合は ( E ) とみなされる。(規則16.1.4)

### 2. 遅延行為の種類

- (1) 正規の ( F ) を遅らせること。(規則15.10.2)
- (2) ( G ) するよう指示された後、中断をさらに引き延ばすこと。
- (3) ( H ) 選手交代を要求すること。(規則15.9)
- (4) ( I ) 要求を繰り返すこと。(規則15.11.3)
- (5) ( J ) が試合を遅らせること。

### 問4の【語群】

要求する権利	正規な	許容回数	ゲームキャプテン	タイムアウト
人数	不法な	チームメンバー	試合を再開	2回目
ボールデッド後	3回目	ラリー中	限界	遅延行為
試合中断	反則行為	アピール	不当な	監督

問5 次の文章は、2022年度6人制競技規則「第2編 レフェリーとその責務および公式ハンドシグナル」の中の「ファーストレフェリーおよびセカンドレフェリーの責務」に関するものです。ファーストレフェリーの責務であれば「F」を、セカンドレフェリーの責務であれば「S」を、両方の責務であれば「FS」を記入してください。

- (1) サーバーおよびスクリーンを含むサービングチームのポジションの反則
- (2) サービスボールや3回目のヒットされたボールがファーストレフェリー側のアンテナ上方や外側を通過したとき。
- (3) ボールがフロアに触れて、ファーストレフェリーがその接触を確認できないとき。
- (4) ネットの上方の反則と、主として(限定ではないが)アタッカー側のタッチネットの反則
- (5) 相手コートおよびネット下方の空間へ侵入したとき。
- (6) 自チームのフロントゾーン内にいるリベロが指を使ったオーバーハンドパスで上げたボールを、他の選手がネット上端より高い位置でアタックヒットを完了したとき。
- (7) バックプレーヤーがブロックの完了をしたとき、またはリベロがブロックの試みをしたとき。または、バックプレーヤーやリベロのアタックヒットの反則のとき。
- (8) ボールをプレーするときの反則
- (9) 主として(限定ではないが)ブロッカー側のタッチネットの反則と、選手がセカンドレフェリー側のアンテナに触れたとき。
- (10) レシービングチームのポジションの反則のとき。

令和4年度（公財）日本バレーボール協会公認B級・C級審判員資格審査会

6人制筆記試験解答用紙

所属		氏名	
----	--	----	--

問1（60問）

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21	22	23	24	25
26	27	28	29	30
31	32	33	34	35
36	37	38	39	40
41	42	43	44	45
46	47	48	49	50
51	52	53	54	55
56	57	58	59	60

問 2 〈15問〉

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
(11)	(12)	(13)	(14)	(15)

問 3 〈5問〉

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

問 4 〈10問〉

1. 不当な要求	(1)	2. 遅延行為の種類	(1)
	A		F
	(2)		(2)
	B		G
	(3)		(3)
	C		H
	(4)		(4)
	D		I
	(5)		(5)
	E		J

問 5 〈10問〉

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

令和3年度（公財）日本バレーボール協会公認B級・C級審判員資格審査会

6人制筆記試験解答用紙

所属		氏名	<b>模範解答</b>
----	--	----	-------------

問1（60問）

1	2	3	4	5
<b>フリーゾーン</b>	<b>左右対称</b>	<b>1 8</b>	<b>9</b>	<b>3</b>
6	7	8	9	10
<b>7</b>	<b>5</b>	<b>6. 5</b>	<b>1 2. 5</b>	<b>水平</b>
11	12	13	14	15
<b>負傷</b>	<b>白色</b>	<b>5</b>	<b>内側</b>	<b>3</b>
16	17	18	19	20
<b>フロントゾーン</b>	<b>1 5</b>	<b>5</b>	<b>2 0</b>	<b>1. 7 5</b>
21	22	23	24	25
<b>2 0</b>	<b>1 5</b>	<b>アタックライン</b>	<b>リベロリプレースメントゾーン</b>	<b>3</b>
26	27	28	29	30
<b>3</b>	<b>2. 5</b>	<b>1 0</b>	<b>3 0 0</b>	<b>1</b>
31	32	33	34	35
<b>2 0 0 0</b>	<b>2. 4 3</b>	<b>2. 2 4</b>	<b>中央部</b>	<b>2</b>
36	37	38	39	40
<b>1</b>	<b>1 0</b>	<b>2 5</b>	<b>1 0</b>	<b>7</b>
41	42	43	44	45
<b>5</b>	<b>垂直</b>	<b>5</b>	<b>1</b>	<b>1. 8</b>
46	47	48	49	50
<b>1 0</b>	<b>ファイバーグラス</b>	<b>8 0</b>	<b>対照的</b>	<b>1 0</b>
51	52	53	54	55
<b>ネット</b>	<b>許容空間</b>	<b>0. 5</b>	<b>2. 5 5</b>	<b>6 5</b>
56	57	58	59	60
<b>6 7</b>	<b>2 6 0</b>	<b>2 8 0</b>	<b>0. 3 0</b>	<b>0. 3 2 5</b>

問2 〈15問〉

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
○	×	×	×	○
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
○	○	○	×	○
(11)	(12)	(13)	(14)	(15)
○	×	×	×	○

問3 〈5問〉

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
○	×	○	○	×

問4 〈10問〉

1. 不当な要求	(1)	2. 遅延行為の種類	(1)
	A ラリー中		F 試合中断
	(2)		(2)
	B 要求する権利		G 試合を再開
	(3)		(3)
	C 2回目		H 不法な
	(4)		(4)
	D 許容回数		I 不当な
	(5)		(5)
E 遅延行為	J チームメンバー		

問5 〈10問〉

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
F	F	S	F	S
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
F	FS	F	S	S